

別表2 環境への取組の自己チェック表

- 組織の環境への取組状況について、本チェック表(Excelファイル)を基に把握してください

○ 追加する取組がある場合には、それぞれの項目の下の空欄に取組の内容を記入してください。

○ 関連する取組についてののみ、左の「チェック」の欄に「1」を入力してください。

○ 「重要度」の欄に、環境経営に著しい効果があると考えられる項目には「3」を、かなり効果がある項目には「2」を、多少効果がある項目には「1」を入力してください。

○ 「取組」の欄に、既に取り組んでいる活動には「2」を、さらに取組が必要は活動には「1」を、取り組んでいない活動には「0」を入力してください。

○ 評価点及び結果の点数は、自動で入力されます。
- 総合結果

493	／	594
-----	---	-----
- 実施日: 2021年3月31日

実施者: 環境責任者 田邊

1. 事業活動へのインプットに関する項目

大項目結果	235	／	262
-------	-----	---	-----

1) 省エネルギー

中項目結果	127	／	134
-------	-----	---	-----

①エネルギーの効率的利用及び日常的なエネルギーの節約

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点	
1	事務室、工場などの照明は、昼休み、残業時など、不必要な時は消灯している	3	2	6	6
1	ロッカー室や倉庫、使用頻度が低いトイレなど、照明は普段は消灯し、使用時のみ点灯している	3	2	6	6
1	パソコン、コピー機などのOA機器は、省電力設定にしている	3	2	6	6
1	夜間、休日は、パソコン、プリンターなどの主電源を切っている	3	2	6	6
	エレベーターの使用を控え、階段を使用するよう努めている			—	—
1	空調の適温化（冷房28℃程度、暖房20℃程度）を徹底している	3	1	3	6
1	使用していない部屋の空調を停止している	3	2	6	6
1	ブラインドやカーテンの利用などにより、熱の出入りを調節している	3	1	3	6
1	夏季における軽装（クールビズ）、冬季における重ね着（ウォームビズ）など服装の工夫をして、冷暖房の使用を抑えている	3	2	6	6
1	達成時期を定めた具体的な数値目標を設定している	2	1	2	4
	緑のカーテンを設置している			—	—
	すだれや庇の取り付けで窓からの日射の侵入を防いでいる			—	—
	屋外機の冷却対策（よしず、日陰、散水など）をしている			—	—
	窓に断熱シート（プチプチマットなど）を貼付け、熱のロスを防いでいる			—	—
	屋上に野菜などを植えて屋上緑化をしている			—	—
1	空調が必要な区域や時間に限定して使用している	3	2	6	6
	人感センサー管理を設定している			—	—
	間引き照明を実施している			—	—
	<製造工程>工程間の仕掛かり削減、ラインの並列化や部分統合などにより生産工程の待機時間を短縮している			—	—
	<製造工程>前処理、前加工、予熱などを合理化することにより生産工程の時間を短縮している			—	—
	デマンド監視を実施している			—	—
	ピークシフトを実施している			—	—
	空調：外気浸入による熱損失を防ぐ処置をしている			—	—
	空調：外気利用などで効率の良い運転をしている			—	—
				—	—
				—	—

↑ 関連する取組についてののみ「1」を入力してください。

②設備機器などの適正管理

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点	
1	照明器具については、定期的な清掃、交換を行うなど、適正に管理している	3	3	9	6
1	空調機については、フィルターの定期的な清掃・交換など、適正に管理している	3	3	9	6
	冷暖房終了時間前に熱源機を停止し、装置内の熱を有効利用している（予冷や予熱時には外気の取り入れをしていない）			—	—
	エレベーターの夜間、休日の部分的停止などを行っている			—	—
	電力不要時には、負荷遮断、変圧器を遮断している			—	—
1	熱源機器（冷凍機、ボイラーなど）の冷水・温水出口温度の設定を、運転効率がよくなるよう可能な限り調整をする他、定期点検を行うなど、適正に管理している	3	3	9	6
	空気圧縮機については、必要十分なライン圧力に低圧化している			—	—
	外気温度が概ね20～27℃の中間期は、全熱交換器（換気をしながら、冷暖房の熱を回収して再利用する設備）のバイパス運転（普通換気モード、中間制御運転、熱交換ローター停止）を行っている。又は、窓の開閉などにより外気取り入れ量を調整して室温を調節している			—	—
1	冬季以外は給湯を停止している	2	1	2	4
1	共用のコンピューターなどの電源については、管理担当者や使用上のルールを決めるなど、適正に管理している	2	2	4	4
	デマンド監視を実施している			—	—
	高効率機器（蓄熱式ヒートポンプなど）を採用している			—	—
	排熱を利用している			—	—
				—	—
				—	—

↑ 関連する取組についてののみ「1」を入力してください。

③設備の入替・更新時及び施設の改修に当たっての配慮

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
1	複層ガラス、二重サッシなどを採用し、建物の断熱性能を向上させている	3	1	3
	昼間の太陽光や人の存在を感知し、必要時のみ点灯する設備を採用している			—
1	LED照明を採用している	3	2	6
1	コピー機、パソコン、プリンターなどのOA機器については、エネルギー効率の高い機器を導入している	3	1	3
1	あらかじめ設定された時刻や時間帯に、照明の箇所や照度などを自動制御するシステムを導入している	3	2	6
	熱線吸収ガラス、熱線反射ガラスを採用し、日射を遮断している			—
	空調機にピークカット機能を組み込んでいる			—
	照明器具の位置を下げるなど照度UPに取り組んでいる（点光源の場合、照度は距離の二乗に反比例）			—
	負荷の変動が予想される動力機器において、回転数制御が可能なインバーターを採用している			—
	空気圧縮機、冷凍機、ボイラーなどのエネルギー供給設備については、新規購入及び更新時には省エネルギー型機を導入している			—
	換気の際に屋外に排出される熱を回収して利用することのできる全熱交換器を採用している			—
	部分換気システムを導入している			—
	従来機との比較でAPFの高いヒートポンプエアコンを採用している			—
	天然ガスを利用した空調システムなどの省エネルギー型空調設備を導入している			—
	天井埋込形エアコンの吹き出しにファンなどを付けて、風を攪乱させる装置を導入している			—
1	給湯設備の配管などを断熱化している	2	2	4
	電力損失の少ない高効率変圧器を採用している			—
	コージェネレーションシステムを導入している			—
	地域冷暖房（地域熱供給）システムを利用している			—
	ごみ焼却熱やボイラーなどの廃熱を利用できる回収システムを導入している			—
	高効率蛍光灯などの省エネルギー型照明器具に切り替えるようにしている			—
1	屋根、壁、床などに断熱材を採用している	3	2	6
	自然エネルギーの積極的利用を進めている／検討している			—
	空調機の屋外機に散水装置を取り付けている（ピークカット対策）			—
	潜熱回収型湯沸器（熱効率95％）を採用している			—
	蒸気配管、加熱装置などの断熱化（保温）している			—
	照明器具に個別スイッチ（キャノピースイッチなど）を取り付けている			—
1	水銀灯はLED型（約50％省エネ）を採用している	3	2	6
1	家電製品はトップランナー製品を優先的に選択している（省エネ性能カタログを参考にしている）	2	2	4
	電力のデマンドコントロールを採用している（ピークカット対策）			—
1	屋上を遮熱塗装している	3	2	6
				—
				—

↑ 関連する取組についての「1」を入力してください。

2）省資源

中項目結果 48 / 54

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
1	会議用資料や事務手続書類の簡素化に取り組んでいる	3	1	3
1	社内LAN、データベースなどの利用による文書の電子化に取り組んでいる	3	2	6
1	打合せや会議の資料などについては、ホワイトボードやプロジェクターの利用により、ペーパーレス化に取り組んでいる	3	1	3
1	印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量となるように考慮し、残部が出ないように配慮している	3	2	6
1	両面、集約などの機能を活用した印刷及びコピーを徹底している	3	2	6
1	使用済み用紙、ポスター、カレンダーなどの裏紙が活用できる紙は可能な限り利用するよう工夫している	3	2	6
1	使用済み封筒を再利用している	3	2	6
1	コピー機は、枚数や拡大・縮小の誤りなどのミスコピーを防止するため、使用前に設定を確認するとともに、次に使用する人に配慮し、使用後は必ず設定をリセットしている	3	2	6
1	書面による郵送に代えて電子メールを活用している	3	2	6
	作成する書類は1枚にまとめる“1枚ベスト運動”に取り組んでいる			—
	レンタルウエス（工業用ぞうきん）を利用している			—
	製品に合わせたスプレーガンの利用で塗料や洗浄剤などの使用量を抑制している			—
	生産工程で使用する塗料や洗浄剤などのタンクを集約化することで使用量を抑制する			—
	材料加工時による端材などのロスを減らすため、材料取りや設計の見直しなどを行っている			—
	溶剤、洗浄剤、触媒といった補助材料を削減するため、原材料の仕様変更などを見直している			—
				—
				—

↑ 関連する取組についての「1」を入力してください。

### 3) 水の効率的利用及び日常的な節水

中項目結果 32 / 46

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点	
1	節水呼びかけの表示をしている	3	1	3	6
1	手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行している	2	1	2	4
1	社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行している	2	2	4	4
1	トイレに水流し音発生器を取り付けるなど、トイレ用水を節約している	2	2	4	4
1	蛇口（水栓）をシャワー型にするなど水量を減らす工夫をしている	2	2	4	4
	生産工程で使用する水を再利用するための設備を設置し、活用している（中水利用）			—	—
	冷凍機や冷水水発生機などで使用する冷却水について、循環使用している			—	—
	バルブの調整により水量及び水圧の調節を図っている			—	—
	蛇口に節水こま（適量の水を流す機能を持つこま）を設置している			—	—
1	水道配管からの漏水を定期的に点検している	3	2	6	6
1	ホースに手元バルブを取り付けて流し放しを防いでいる	3	1	3	6
	自動水栓を取付けている			—	—
	塗装やメッキに使用する洗浄水を多段（カスケード）使用している			—	—
	冷水水発生機、クーリングタワーなどの稼働に伴い使用される水の量が適正に保たれるよう設備の管理を行っている			—	—
1	雨水の貯留タンクや雨水利用施設の設置などにより、雨水利用を行っている	3	1	3	6
	雨水を地下浸透させる設備（浸透升など）を導入している			—	—
1	水使用量の把握と削減目標を設定している（維持管理含む）	3	1	3	6
				—	—
				—	—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

### 4) 化学物質使用量の抑制及び管理

中項目結果 28 / 28

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点	
	最小限での運用を心がけている			—	—
1	屋外での除草剤、殺虫剤の使用の削減に取り組んでいる	2	2	4	4
	消毒用アルコールを非危険物のものになっている			—	—
1	保管タンク、配管などの漏れ防止を実施している	3	2	6	6
	洗浄薬品などは、交換頻度を見直ししている（品質維持必須）			—	—
	燃料油、溶剤、塗料などの揮発を防止するなど、VOCの排出抑制に取り組んでいる			—	—
	有害物質のタンク、パイプ類は漏洩、拡散などを防止できる構造としている			—	—
1	有害性の化学物質について、その種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、保管場所などを経時的に把握し、記録・管理している	3	2	6	6
	有害性の化学物質の排出量の計測、推定などを行っている			—	—
1	有害性の化学物質の表示を徹底している	3	2	6	6
1	化学物質の安全性に関する情報伝達のため、SDSにより管理している	3	2	6	6
	有害物質のタンク、パイプなどの保守・点検を定期的に行うなど適正管理に努めている			—	—
	代替物質の調査を実施している			—	—
	<製造工程>レイアウト見直しによる使用量の削減をしている			—	—
				—	—
				—	—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

## 2. 事業活動からのアウトプットに関する項目

大項目結果 136 / 150

### 1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染などの防止

中項目結果 15 / 18

#### ①温室効果ガスの排出抑制

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点	
1	都市ガス、灯油などの環境負荷の少ない燃料を優先的に購入、使用している	3	1	3	6
1	自社の車両の運転におけるムダな燃料使用をさけるため、ドライブレコーダーなどを導入し、車両の運転における燃料効率の改善を図っている	3	2	6	6
	製品購入の際には、できるだけHFC（ハイドロフルオロカーボン）、PFC（パーフルオロカーボン）、SF6（六フッ化硫黄）などを使用していない製品を選ぶように配慮している			—	—
	HFC（ハイドロフルオロカーボン）、PFC（パーフルオロカーボン）、SF6（六フッ化硫黄）などを使用している製品を廃棄する際の回収に努めている			—	—
	燃料電池システムを導入している			—	—
	太陽光発電設備を導入し、太陽エネルギーを電気として利用している			—	—
	太陽熱温水器などを導入し、加熱した水を暖房や給湯に利用している			—	—
	マイクロ水力（発電規模100kW程度以下の水力発電）を導入している			—	—
	カーボン・オフセットに取り組んでいる商品やサービスを購入又は使用している			—	—
1	ハイブリッド車や電気自動車を導入している	3	2	6	6
				—	—
				—	—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

## ②大気汚染物質の排出抑制

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	定期的に吸気口の清掃をしている			—
	設備の定期点検と予防保全の実施をしている			—
	汚染物質除去装置を設置している			—
	大気汚染の少ないプロセスや機器（低NOx燃焼機器など）を採用している			—
	日常的に大気汚染防止への配慮（燃焼管理など）を行っている			—
	大気汚染について、法令による基準より厳しい自主管理基準を設定し、その遵守に努めている			—
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

## 2) 廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理

中項目結果 97 / 108

### ①廃棄物の発生そのものを抑える取組

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
1	ペーパータオルを廃止している	2	1	2
1	ゴミ箱の削減、あるいは撤去している	2	0	0
1	廃棄物処分方法の変更をしている 廃棄物の有価化	2	2	4
1	分別廃棄の徹底をしている 廃棄物の有価化	2	2	4
1	劣化などによる不良在庫を減らすため、在庫数量の適正化など在庫管理を徹底している	3	2	6
1	使い捨て製品（紙コップ、使い捨て容器入りの弁当など）の使用や購入を抑制している	2	2	4
	リターナブル容器（ビール瓶、一升瓶など）に入った製品を優先的に購入し、使用している			—
1	再使用又はリサイクルしやすい製品を優先的に購入し、使用している	2	2	4
1	詰め替え可能な製品の利用や備品の修理などにより、製品などの長期使用を進めている	2	2	4
1	コピー機、パソコン、プリンターなどについて、リサイクルしやすい素材を使用した製品を購入している	2	2	4
1	商品の購入時には、簡易包装のものを優先的に購入している	2	2	4
1	納品の際の梱包、包装資材などの削減に取り組んでいる	2	2	4
1	OA機器などの故障時には、修理可能かどうかをチェックし、可能な限り修理することで長期使用に努めている	2	2	4
1	マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動を行っている	2	2	4
	従業員などにマイバッグ運動を呼びかけている			—
1	3S（整理・整頓・清掃）活動を実施している	3	2	6
1	帳票の見直し	2	2	4
	生産工程の歩留まり向上に努めている			—
1	加工ミスによるロスの低減に努めている	3	2	6
	廃棄物の重量を正確に把握し、MFCA（マテリアルフローコスト会計）などに基き廃棄物の原価を計算している			—
1	クレームの発生撲滅に努めている	3	2	6
	品質マネジメントシステム（QMS）と連動して（一体的に）運用している			—
1	発生量の把握と削減目標を設定している（維持管理含む）	3	1	3
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

### ②リサイクルの促進

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
1	紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池などについて、分別回収ボックスの適正配置などにより、ごみの分別を徹底している	2	2	4
1	シュレッダーの使用を機密文書などに限り、シュレッダー処理紙のリサイクルに努めている	2	2	4
1	コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収ルートを確認し、リサイクルを図っている	2	2	4
1	発生したごみは可能な限り、圧縮などを行い、減容している	2	2	4
	食堂などにおける食べ残し、食品残渣などの有機物質については可能な限りコンポスト化（堆肥化）し、土壌に還元し、利用している			—
	廃食用油のリサイクルルートを確認し、せつけんなどへの再利用を行っている			—
1	適切なリサイクル業者を特定・選定している	3	2	6
	生産工程から発生する金属くず、紙くず、廃液、汚泥などの回収・再利用のための設備やラインを設け、活用している			—
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

### ③産業廃棄物などの適正処理

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	メタン発生防止のため、生ごみなどの分別・リサイクルや適正な焼却処分を極力行うことにより、有機物の埋立て処分を抑制している			—
	廃棄物焼却の際、塩化ビニールなど焼却に適さない物が混入しないよう徹底するとともに、ばい煙の処理、近隣環境への配慮などを行っている			—
1	廃棄物を見える化している（量、金額、委託先など）	2	1	2
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

### 3）排水処理

中項目結果 12 / 12

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
1	最小限の使用を徹底している	3	2	6
	トイレや散水栓に雨水を利用している			—
	浄化槽の適切な維持管理を実施している			—
	水質汚濁の少ないプロセスや機器（廃液回収・再利用など）を採用している			—
	排水処理装置を適切に設置している			—
	有害物質や有機汚濁物質（生ごみなど）ができるだけ混入しないようにしている			—
	水質汚濁などについて、法令による基準より厳しい自主管理基準を設定し、その達成に努めている			—
	油水分離槽を設置し、油の分離・回収に努めている			—
1	年に数回程度油水分離槽の清掃を定期的に行い、油の流出防止に努めている	3	2	6
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

### 4)その他生活環境に係る保全の取組など

中項目結果 12 / 12

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
1	悪臭防止のため排出口の位置などの配慮を行っている	3	2	6
1	低騒音型機器の使用、防音・防振設備の設置などにより騒音・振動を防止し、日常監視及び測定を実施している	3	2	6
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

## 3．製品及びサービスに関する項目

大項目結果 76 / 116

### 1）グリーン購入（環境に配慮した物品などの購入、使用など）

中項目結果 22 / 60

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
1	コピー用紙、コンピューター用紙、伝票、事務用箋、印刷物、パンフレット、トイレットペーパー、名刺などの紙について、再生紙又は未利用繊維への転換を図っている	3	1	3
1	節水型の家電製品、水洗トイレなどを積極的に購入している	3	1	3
1	温室効果ガス排出係数の低い小売電気事業者から電力を購入している	3	0	0
1	環境に配慮した物品などの調達に関する方針、基準などを作成し、それらに基づき物品リストを作成し、リストに基づき購入を行っている	3	0	0
1	環境ラベル認定など製品を優先的に購入している	3	0	0
1	省エネルギー基準適合製品を購入している	3	1	3
1	再生材料から作られた製品を優先的に購入、使用している	2	0	0
1	間伐材、未利用資源などを利用した製品を積極的に購入、使用している	2	1	2
1	無漂白製品（衣料品など）、水性塗料などの環境への負荷の少ない製品を優先的に購入、使用している	2	1	2
1	修理や部品交換が可能で、部品の再使用、素材の再生利用が容易な設計の製品を優先的に購入、使用している	3	2	6
	木材の調達に当たり、跡地の緑化、植林、環境修復が適切に行われていることに配慮している。又は跡地緑化などを考慮している			—
1	社用車について、ハイブリッド車や低燃費車、低排出ガス認定車、電気自動車、天然ガス自動車などの低公害車への切替えに取り組んでいる	3	1	3
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

## 2) 製品及びサービスにおける環境配慮

中項目結果 54 / 56

### ①設計、計画などにおける取組

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	製品の小型化、軽量化などにより、同一機能に対して資源使用量のミニマム化を指向している			—
	製品の長寿命化を指向している			—
	製品の使用過程でのエネルギーの削減を指向している			—
1	再生資源の積極的利用に取り組んでいる	3	2	6
	廃棄物の発生抑制のため、モデルチェンジの適正化に取り組んでいる			—
	リサイクルしやすいよう素材の種類や製品の部品点数の削減や、ネジの数を減らすことなどによる解体しやすい構造を指向している			—
	有害性の化学物質の含有量を少なくするよう指向している			—
	塩素系有機溶剤などの削減、代替物質への転換を行っている			—
	プレス方法（金型）の修正や変更により、製品不良の削減など効率化を図っている			—
	購入する原材料の仕様を変更し、端材などの削減に取り組んでいる			—
	製品の生産数量と品目を分析するなどして、生産計画を平準化している			—
	自社製品及び社外から購入する部品などについて、想定される環境負荷のチェック表を作成している			—
	新製品開発、モデルチェンジなどに当たり、環境負荷の測定・記録や製品アセスメント（製品が廃棄物になった場合の適正処理困難性の評価、製品の生産から消費、廃棄に至る各段階での環境負荷の評価（ライフサイクルアセスメント）などを含む）を実施している			—
	既存製品についても計画的に製品アセスメントなどを実施している			—
	自社独自の環境保全型商品などの開発に積極的に取り組んでいる			—
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

### ②出荷、輸送などにおける取組

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
1	簡易包装の推進、多重包装の見直しなどを推進している	2	2	4
1	定期点検を着実に実施している	3	2	6
1	製品などの輸送の際には、繰り返し利用できるパレットや通い箱を利用している	3	2	6
1	エコドライブなど運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐車中でのエンジン停止など）を励行している	3	2	6
	共用自転車を導入して、近距離の用務には社用車を使用せず、自転車を利用するように努めている			—
	公共交通機関の利用などにより、社用車の使用削減に努めている			—
	鉄道・海運を積極的に利用している			—
1	タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正值（メーカー指定の空気圧）を保つように努めている	3	2	6
1	排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車輛整備を行っている	3	2	6
1	共同輸配送、帰り荷の確保に取り組んでいる（積載車の納品・引き取り時）	3	2	6
1	発注・輸送（納品・引き取り）の計画化・平準化、行き過ぎた少量・多頻度輸送やジャスト・イン・タイムサービスの見直しを行っている	3	2	6
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

### ③製品の回収・リサイクル

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
1	使用後の製品、容器包装などの回収・リサイクルに取り組んでいる	2	1	2
	フロン類の漏洩防止のための留意点など、製品に関する環境への負荷を低減するための消費者への情報提供を行っている			—
	消耗品の回収箱などを店頭に設置するなど、その回収・リサイクルに取り組んでいる			—
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

### ④環境配慮型商品等の販売及び情報提供

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	販売の際にマイバックの利用を推奨している			—
	量り売りやばら売りなどを推進している			—
	エコマーク及び自ら制定したマークや宣言などを製品やパンフレットなどに表示している			—
	再生資源を使用した商品、再生可能な商品、繰り返し使える商品、省エネ・省資源型の商品、容器包装を簡素化した商品、環境ラベル認定の製品などを重点的に販売している			—
	上記商品の販売目標を定め、販売促進に積極的に取り組んでいる			—
	修理部品の長期的な確保に自主的に取り組んでいる			—
	消費者などに環境配慮型商品に関する情報を積極的に提供している			—
	製品の使用時や廃棄時の環境負荷の量をカタログなどに表示している			—
	販売の際に環境配慮型製品の表示、製品アセスメントの結果の表示などを行っている			—
	外部から製品の環境負荷に関するデータの提供の依頼があった場合、協力している			—
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

#### 4. その他

大項目結果 46 / 66

##### 1) 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組

中項目結果 6 / 6

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点	
	調達する原材料（木材、水産品、農作物、鉱物など）の原産地を把握している			—	—
	地元の自然資源の積極的な利用を図り、地産地消を推進している			—	—
	原材料の生産や採掘が、現地の生物多様性に悪影響を与えるものではないか、先住民の権利は尊重されているかなどについての情報を得ている			—	—
	調達する原材料について、認証品（森林認証、漁業認証など）の活用を指向している			—	—
	事業活動が生物多様性に与える影響を公表している			—	—
1	事業所周辺の環境や生き物の保全活動（生息地の整備など）を通じ、事業活動を行う地域環境への配慮を行っている	3	2	6	6
				—	—
				—	—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

##### 2) 環境コミュニケーション及び社会貢献

中項目結果 25 / 36

###### ①環境コミュニケーション

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点	
1	ウェブサイト上で環境に関する情報を提供している	3	1	3	6
1	行政、地域住民、取引先などへ環境経営レポートを配布している	3	0	0	6
1	事業活動に伴う重要な環境負荷、環境に関する主要な目標、環境担当者の連絡先などを公表している	2	1	2	4
	消費者などに対して、情報提供や啓発活動を行っている			—	—
1	外部からの情報提供、公表の依頼に対する窓口を置いている	2	2	4	4
1	意見聴取を定期的に行い、環境への取組の際に考慮している	2	2	4	4
	外部関係者の意見を聴取する窓口を設けている			—	—
				—	—
				—	—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

###### ②社会貢献

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点	
	環境に関する基金・団体の設置、既存の基金・団体を支援している（人材派遣、資金面での援助、従業員の給与の端数を集めた寄付、広報活動への協力など）			—	—
	環境関係の基金などへのマッチングギフト（従業員労働組合などの任意の寄付と同額の寄付を事業主として行うこと）を行っている			—	—
1	地域のボランティア活動などに積極的に参加し、協力や支援を行っている	3	2	6	6
	環境に関する研究や活動を行っているサークルなどに対する支援、又は協働を行っている			—	—
	環境に関連する表彰制度を実施している			—	—
	大学に環境関係の寄附講座を開くなど、研究機関への支援を行っている			—	—
1	敷地内、壁面、屋上などの緑化を行っている（大気浄化、都市気象の緩和にも資する）	3	2	6	6
				—	—
				—	—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

##### 3) 施主・事業主における建築物の増改築、解体などに当たっての環境配慮

中項目結果 15 / 24

###### ①設計者及び施工業者（工務店、建設会社など）への依頼・協力要請

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点	
1	環境負荷の少ない建築材の使用、建築材の使用合理化など（合板型枠などの木材の使用合理化、高炉セメント、エコセメント、再生素材の積極的使用など）を依頼している	3	1	3	6
1	周辺の自然環境（動植物など）への影響を最小限に抑える、又は修復するなど環境に配慮した施工計画の提案を依頼している	3	2	6	6
				—	—
				—	—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

###### ②既存建築物が及ぼす環境への影響を予防、低減するための方策

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点	
1	建築物の老朽化や運用の診断を行い、改善や環境保全設備の見直しを行っている	3	1	3	6
1	建築物の耐久性の向上に取り組んでいる	3	1	3	6
	排水設備のメンテナンス、吹き付けアスベストの管理（特に解体時の事前除去）などを行っている			—	—
				—	—
				—	—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。